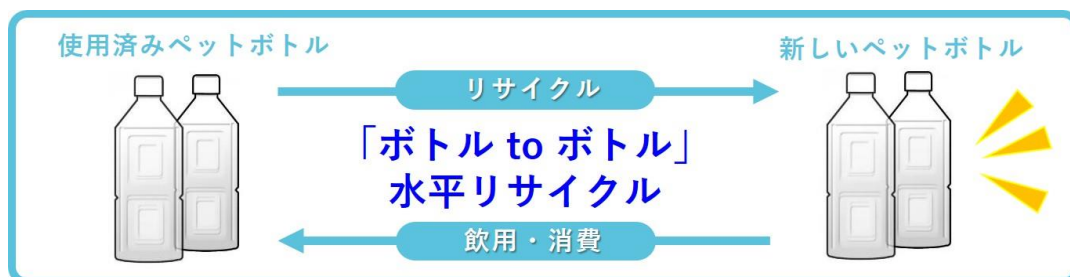


News Release

サントリーと万代が協働し
「ボトル to ボトル」水平リサイクルを
リサイクルの日である6月9日（金）より開始

— 10月末までにリサイクルボックス設置可能な全155店舗に
拡大を予定しペットボトル「資源」の循環を促進 —



株式会社 万代（以下、「万代」）は、サントリー食品インターナショナル株式会社と協働し、万代の店頭で集められた使用済みペットボトルを回収して新たなペットボトルに生まれ変わらせる「ボトル to ボトル」水平リサイクル^{※1}を「リサイクルの日」である6月9日（金）より開始します。まずは大阪府と奈良県の6店舗で先行開始し、今年の10月末までにリサイクルボックス設置が可能な全155店舗に拡大していく予定です。

※1 使用済み製品を原料として用いて同一種類の製品につくりかえるリサイクルのこと

●本取り組み実施の背景

万代は、「日本一買い物に行きたい店舗をめざして」を企業理念に掲げ、地域の人々の幸せに貢献することを目指し、環境活動においても取り組みを強化しています。サントリーグループは「人と自然と響きあう」という使命を掲げ、ペットボトルに関しても2030年までに「100%サステナブル化」することを目標にさまざまな取り組みを行っています。

今回、「リサイクル適性が高く、再資源化の仕組みが整っているペットボトルを資源として循環させていくことで持続可能な社会の実現に貢献する」という両社の思いが一致し、このたびの取り組みに至りました。

●本取り組みについて

万代の対象店舗で回収した使用済みペットボトルをサントリーグループの飲料用ペットボトル容器として再生・使用していきます。これにより、お客さまのご協力により集められた使用済みペットボトルを新たなペットボトルに生まれ変わらせる、「ボトル to ボトル」水平リサイクルを実現します。また、万代では、お客さまの水平リサイクルの取り組みへの参加促進を目的に、売り場と連動した取り組み告知を順次展開し「リサイクルの見える化」を推進して、地域のお客様と共に、資源の有効活用を推進します。



〈サントリー食品インターナショナル株式会社〉

サントリーグループのサントリー食品インターナショナル株式会社は、「サントリー天然水」「BOSS」など根強いロングセラーブランドを中心に、清涼飲料、健康食品など多岐にわたる事業を展開。日本のみならず世界のその国々や地域で愛されてきたブランドを活かして付加価値の高い商品を提供し続けている企業です。

＜この件に関する問い合わせ先＞

株式会社万代 広報・IR室 06-6720-3302

以 上